

清川泰次と

1950年代の アメリカカ



《アブストラクト・イン・シカゴ》1954年



4月1日(木)～7月25日(日)
2010年

撮影:清川泰次

世田谷美術館分館
清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 電話:03-3416-1202 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分 ○開館時間:10:00～18:00(最終入館は17:30まで) ○休館日:毎週月曜日(ただし祝祭日の場合は開館、翌日休館)、5月6日(木)は休館 ○観覧料:一般200円(160円)、大・高生150円(120円)、中・小生、65歳以上、障害者の方(一般)100円(80円) ※()内は20名以上の団体料金。中・小生は土・日・祝祭日、夏休み期間は無料。障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者(当該障害者1名に付き、1名に限る)は無料。
www.kiyokawataiji-annex.jp

清川泰次と 1950-60年代の アメリカ

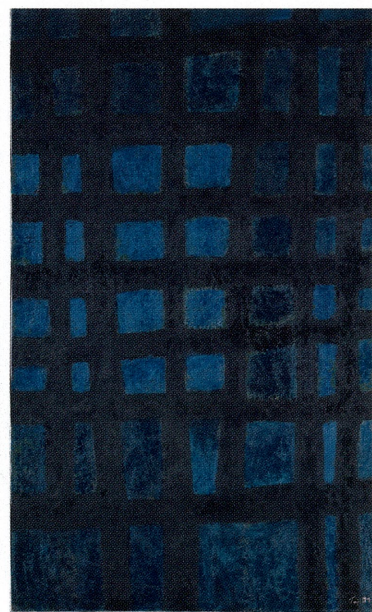
アメリカは、戦後比類ない隆盛を極め、その勢いは美術界にも反映されました。清川泰次(1919[大正8]年-2000[平成12]年)は最先端のアメリカ美術に触れ、それを習得するために、1951年、シカゴにいた後援者をたよりに数週間かけて船で海を渡り、大陸横断バスでシカゴを目指しました。ところが、シカゴに着いて2週間も過ぎないうちに、その後援者が急逝します。一人になった清川は安下宿を探し、アルバイトをしながら絵の制作を続け、3年間のアメリカ生活を送りました。そこで、日本に居た頃から抱いていた具象画への疑問をふっきり、抽象的な表現へと向かっていきます。そして1963年~1966年の3年間、再び研鑽を積むためにアメリカに在任し、作品の制作に励み、より研ぎ澄まされた世界を求めていきました。それは1970年代の白を基調とする独自の画風「白の世界」シリーズへと繋がっていきます。

日本の喧騒から離れ、集中して作品制作を行うことができた2度のアメリカ滞在は、清川泰次の作家人生の中でも極めて充実した時間だったといえるでしょう。本展では、清川泰次のアメリカ時代の作品を中心にをご紹介します。

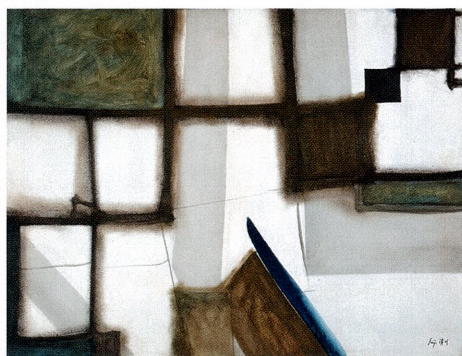
また清川泰次は、アメリカ滞在中、学生時代から興味を持っていたカメラで、現地の様子を写真におさめています。そこには、1950年~60年代の摩天楼が立ち並ぶ、当時のアメリカの繁栄ぶりが写し出されています。これらの写真とともに、清川泰次の滞米時代の作品をお楽しみください。

撮影:清川泰次

2010年4月1日(木)~7月25日(日)



《Painting No.100M-54-5》1954年



《不詳》1960年代

世田谷美術館の分館・清川泰次記念ギャラリーは、成城の閑静な住宅街にあります。芝生が広がり、草花が咲く明るい庭と温かみのあるモダンな建築は、清川泰次のアトリエ兼住居を一部改装したものです。当館では清川泰次の作品を紹介するとともに、区民ギャラリーを併設し、区民の方々の創作活動を発表する場として、週単位でご利用いただいています。(展示予定はホームページをご覧ください)

〒157-0066
東京都世田谷区成城2-22-17
電話:03-3416-1202

小田急線「成城学園前」駅
南口から徒歩3分

www.kiyokawataiji-annex.jp



©宮本和義



世田谷美術館分館
清川泰次記念ギャラリー

本館情報 世田谷美術館

(詳細は、ホームページなどでご確認ください。)

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
電話03-3415-6011(代) ハローダイヤル03-5777-8600
www.setagayaartmuseum.or.jp

■企画展

「川上澄生:木版画の世界 — 栃木県立美術館所蔵による」3月13日(土)~5月9日(日)

「フェリックス・ティオリエ写真展

— いま蘇る19世紀末ビクトリアリズムの写真家 —」5月22日(土)~7月25日(日)

■収蔵品展

「平成21年度第3期収蔵品展 第I部 麻生三郎と世田谷の作家たち
1月5日(火)~4月9日(金) 第II部 村山知義関係資料 内田昇三コレクション」

「平成22年度第1期収蔵品展 アトリエの時間 — 建畠覚造 模型とデッサン」
4月16日(金)~9月5日(日)

分館情報

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 電話03-5450-9581
www.mukaijunkichi-annex.jp

「向井潤吉と民家」4月27日(火)再開
4月27日(火)~7月25日(日)

◀《武蔵野の丘徑》1974年



宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13 電話03-5483-3836
www.miyamotosaburo-annex.jp

「ドキュメント 素描する宮本三郎 1950's写真家・中村立行による」
4月1日(木)~7月25日(日)

◀《描く宮本三郎》1954年 撮影:中村立行 個人蔵

